

# 家康公の運境! スポット

石川や三重など各地で起こった一向一揆のなかでも西三河で起こったものを「三河一向一揆」と呼ぶ。この一向一揆の舞台と、三大危機で命拾いをした逸話が残る寺院をご案内。

## 一向一揆

家康公の家臣が、上宮寺から強引に兵糧米を徴収したことがきっかけ。門徒である有力家臣が一揆側についたことなどから苦戦し、家康公自ら指揮を執って鎮圧した。

## 伊賀越え

本能寺の変の際、大阪にいた家康公。明智光秀の領地を通らねば岡崎城に戻れず、それが困難なことは歴然だった。そこで自刃も考えた家康公を、徳川四天王や服部半蔵などが説得し、山や海を通る複雑なルートで逃走した。

**関連する人物**

**織田信長** おだのぶなが  
家康公と同盟を組み、尾張国を統一。天下統一を目前にしながら、明智光秀による本能寺の変によって没した。

**歴史トリア**

**服部半蔵** はっとりはんぞう  
家康公に仕えて活躍したのは2代目服部半蔵。伊賀忍者とされる初代が松平家に仕えるために移住しており、2代目半蔵は伊賀ではなく岡崎出身、忍者であり武将だったとされる。

## 三方ヶ原の戦い

織田・徳川連合軍と武田軍との戦い。武田軍の陽動作戦で窮地に追い込まれた家康公は、家臣が身代わりに討ち死にするなど命の危機に瀕した。敗走中に空腹だった家康公の逸話である「小豆餅」と「銭取」は地名となり、歴史を今に伝えている。

**静岡・浜松**

**5 浜松八幡宮** はままつはちまんぐう

家康公の守り神として楠の伝説も残る神社

浜松城の鬼門の方角にあるため、鬼門鎮守の守り神として信仰した家康公が何度も参拝したという。また境内の楠には、家康公が三方ヶ原の戦いから敗走する途中で、楠の穴に潜んで難を逃れたという逸話も残る。

053-544-7111 静岡県浜松市中区八幡町2 境内自由

**愛知・岡崎**

**1 上宮寺** じょうぐうじ

壮絶な一向一揆のきっかけになった寺

家康公の家臣が上宮寺で強引な兵糧の徴収を行い、これに憤慨した寺側と家康公側が衝突したことが一向一揆の発端に。上宮寺は、岡崎の勝鬘寺、安城の本證寺とともに三河三カ寺と呼ばれ、一向一揆を主導した。

0564-31-6277 愛知県岡崎市上佐々木町梅ノ木34 境内自由

**愛知・岡崎**

**2 勝鬘寺** しょうまんじ

一向宗の拠点として激しい戦いの場所に

鎌倉時代創建の三河最初の真宗道場とされる寺。三河三カ寺のひとつとして一向一揆を主導。激しい戦いの末に大伽藍が兵火により焼失するなどの被害を受けた。現在の本堂は1734(享保19)年に再建されたもの。

0564-51-3443 愛知県岡崎市針崎町朱印地3 境内自由※参拝時間 7:00~17:00

**愛知・岡崎**

**3 山中八幡宮** やまなかはちまんぐう

鳩に助けられた若き日の家康公

家康公の父広忠の再興とされる神社。家康公が一向一揆の追手から身を隠した洞窟がある。洞窟に追手が追ると2羽の鳩が飛び立ったため、敵は「誰もいない」と判断。家康公は命拾いをし、洞窟は鳩ヶ窟と呼ばれる。

0564-48-3513 愛知県岡崎市藤木町宮下8 境内自由

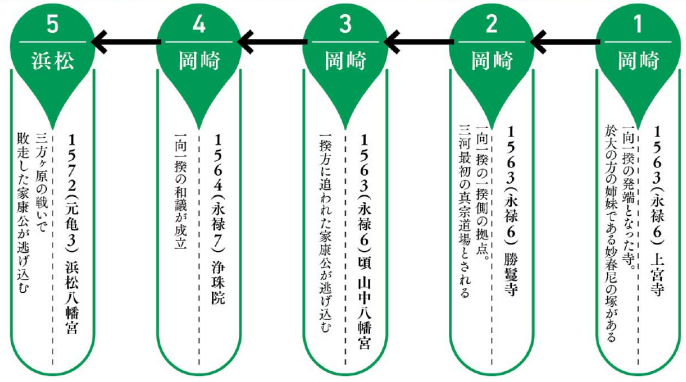
**愛知・岡崎**

**4 浄珠院** じょうしゅいん

家康公が本陣にした浄土宗の寺院

一向一揆の制圧に向け、家康公が指揮を執るために本陣を置いた寺。1564(永祿7)年、一揆側から提案された和議を浄珠院で成立させ、戦いに幕が引かれた。領地での争いが収まり、家康公は三河統一へと突き進んだ。

0564-52-5253 愛知県岡崎市上和田町北原敷55 境内自由



負けて死を覚悟し最後に、天下を取る

桶狭間の戦いの後、今川家から自立した家康公は、織田信長と清洲同盟を結ぶことによって西三河を平定する。そこに新たな難題として起こったのが一向一揆。いつの時代も政治、戦争、宗教が世の中を大きく動かすことがあるが、この当時はその影響が顕著であった。宗教団体のなかでも一向宗と呼ばれた浄土真宗は、組織や軍備なども大名に引けをとらなかつたため、各地で起こった一向一揆は多くの戦国大名たちを苦しめたという、まさに強敵。また家臣にも門徒がいたことから家臣団を二

分する事態にもなり、地元や身内などの身近な問題であることも家康公を悩ませた。収束後、一向宗側についた家臣を罰することなく受け入れたことが、この戦いへの対応の難しさを表しているようだ。その9年後の三方ヶ原の戦いは、武田軍を相手にした家康公が討死寸前となる屈辱的な大敗北となり、さらに10年後の伊賀越えは、30人あまりの集団で敵陣を突破するという至難の業を成し遂げた。家康公の遺訓の一文には「勝つ事ばかり知りて、負けること知らざれば害その身にいたる」とある。三大危機を知ること、その「負け」の意味が理解できるかもしれない。

# 3 激戦の一向一揆を中心に 三大危機を知る

生涯のうち、幾度となく戦ってきた家康公には「三大危機」と言われる絶体絶命のピンチがあった。三河で起こった「一向一揆」をはじめ、「三方ヶ原の戦い」「伊賀越え」についてチェックしておきたい。